



## TOPICS

- ・4年生の覚悟 ～秋季リーグ戦に向けて～
- ・第41回総合関関戦
- ・関大野球部一日の流れ
- ・新入生研修プログラム
- ・ご父母の皆様へ
- ・関大野球部の未来を担う選手たち  
～チャレンジリーグ～
- ・侍ジャパン大学代表選考合宿



KANSAI UNIV. BASEBALL TEAM

# 4年生の覚悟

## ～秋季リーグ戦に向けて～

春季リーグ戦は7勝5敗(勝ち点3)、惜しくも2位で終了し、悔しい結果になりました。

しかし、リーグトップの防御率0.63を記録した高野(商2・出雲商)、リーグ最多の15盗塁を記録した多田(人間4・明德義塾)がベストナインを獲得し、嬉しい話題もありました。

秋季リーグ戦に向け、夏は社会人や他大学とのオープン戦を重ね、着々と力をつけています。秋は4年生にとって最後のリーグ戦ということもあり、4年生中心に気合は十分です!

春季リーグ戦では、たくさんの方々に球場にお越しいただき、ありがとうございました。秋季リーグ戦はチームの目標である「全国制覇」を達成するため、4年生中心にチーム全員で勝つという「氣」を同調させ悔いの残らぬよう戦います。

主将・高橋 佑八(経4・龍谷大平安)



打撃投手や紅白戦の審判、偵察、グラウンド整備などといった裏方に徹しています。「チームのために」という想いを胸に、目標である『全国制覇』に向け、チームを支えていきたいと思えます。

内川 雅大(法4・関大北陽)



また、6月22日(金)～25日(月)の4日間、わかさスタジアム京都にて関西オールスター5リーグ対抗戦が行われました。本学から、投手は肥後(人間3・広陵)、高野。野手は高橋佑、太田(文4・乙訓)、多田、野口(人間1・鳴門渦潮)が選出されました。決勝戦は関西六大学連盟に5-2で勝利し、関西学生野球連盟が明治神宮野球大会関西地区代表決定戦におけるスーパーシード権を獲得しました。

# 第41回総合関関戦

総合関関戦とは、関西大学体育会と関西学院大学体育会の全クラブが一同に会して対戦し、親睦を深める大会です。第41回目を迎えた総合関関戦は、今年も白熱した試合を繰り広げました！

野球部の結果は8-4の快勝。全クラブの総合では優勝から遠ざかっていた関大でしたが、今年は17勝15敗5分で10年ぶりに悲願の優勝を果たしました。今大会のスローガンである「覚悟」のもと、選手たちは気合い十分な表情で戦いました。特に4年生は最高学年の意地を見せてくれました！

これまでの総合関関戦対戦成績

	勝	負	引
野球部	17	16	3
総合	17	23	0

## ～戦評～

関大は濱田駿（法4・東福岡）が初回を三者凡退に抑え良い立ち上がりを見せます。攻撃では、1番打者の太田などが好機を作ると、河内の右前適時打などで3点を先制します！



関大はその後も、攻撃の手を緩めず、2回には先頭打者の平が四球で出塁すると、5者連続安打で一気に4点を追加。さらに相手を引き離します！



5回までに8得点し、関大優勢で試合は後半に突入します。関学の追い上げがあったものの、落ち着いた守りを見せ、8-4で関大が勝利しました！



## 活躍選手の感想

普段スタンドで応援している4年生と、リーグ戦に出場している4年生と一緒にプレーできたことが何よりも嬉しかったです。勝つことができ良かったです。

河内優斗（経4・京都学園）



特に4年生はいろいろな思いを持ち、試合に臨みました。この試合に勝てて本当に良かったです。残りのシーズンもチームに貢献できるよう頑張ります。

早田将也（化生4・古賀竟成館）



勝利という結果に執着した中、このような結果を収めることができ良かったです。秋のリーグ戦でもチーム一丸となり頑張ります。

平大空（人間4・関大北陽）



たくさんの応援本当にありがとうございました。4年生が中心となって試合に勝てた事は良い経験となりました。秋のリーグ戦も4年生が中心となって優勝を掴み取ります。

吉田潤歩（社4・比叡山）



個人の結果は優れたものではありませんでしたが、チームの勝利が何よりも嬉しかったです。いつもスタンドから、共に応援している同期の全力プレーを見て目頭が熱くなりました。

小住考彦（人間4・履正社）



伝統の一戦に出させていただき、応援の力やありがたみを感じました。学生生活最後のシーズンでは、全国制覇を目指しそれぞれが悔いなき我が道を進みます。

平野聖悟（法4・関大一）



# 関大野球部 一日の流れ

## 朝整備



1年生の朝はグラウンドの整備・掃除から始まります。このような毎日の積み重ねを大切にしています。

## 授業



学部によって学ぶことが違いますが、関大生として、毎日真剣に授業へ取り組んでいます。

## 練習



守備練習中の野手

## 自主練習



全体練習が終わってからも、室内練習場などで打撃練習や走り込みなどの自主練習を行っています。



トレーニング中の投手

部員数は約 200 人と大所帯のため、授業の合間に 9:30、13:10、15:00、16:40、18:30 の 5 つの時間に分かれて練習を行っています。

## 新入生研修プログラム

野球部では毎年 OB・OG の方々をお招きし、新入生を対象とした研修プログラムを行っています。関大野球部の歴史、社会のルールやマナー、将来の就職活動に向けてなど貴重なお話を聞くことができました。一人ひとりが当たり前のことを当たり前に行える集団を作るという意識を持つことで、野球部での活動や私生活においても自覚を持った言動をすることの大切さを実感しました。そして、お話の中で現在の野球部は多くの方に支えられていると知りました。支えてくださる皆様のご期待に応えられるように今後とも奮闘いたします！

## ご父母の皆様へ

春季リーグ戦、総合関関戦では多くの方々に球場まで足をお運びいただき、温かいご声援をいただきました。心から感謝申し上げます。秋季リーグ戦も優勝に向け頑張りますので変わらぬご声援のほどよろしくお願いいたします！また、マネージャーが中心となって、ホームページ・ブログ・Facebook を更新しています。ここでしか見ることのできない関大野球部に関する情報をいち早くお伝えしています。ぜひご覧ください！

# 関大野球部の未来を担う選手たち ～チャレンジリーグ～

対 同志社大学(●1-7)

追い上げを狙い好機を作るも、同志社大学の勢いを止めることができなかった。



3本の安打を放った木村育(商2・関大)

チャレンジリーグのメンバーに入り、貴重な経験をしました。この経験を忘れず今大会の反省を踏まえて練習から意識して取り組みたいです。

対 京都大学(O11-0)

攻撃で圧倒し快勝した。2回、濱田大の本塁打で先制し、その後も攻撃の手を緩めず勝利を手にした。



本塁打を放った濱田大輔(経2・津田学園)

簡単に勝てないことを実感し、自分の仕事をして勝ちたいと思いました。自分の本塁打で勢いづいたため、今後は試合の流れを変えられる選手になりたいです。

対 近畿大学(●0-3)

前半は両者とも無得点で、緊迫した試合となる。しかし、7回に失策が絡み3点を失い敗戦となった。



好投を見せた巻大地(商1・上宮)

十分に力を発揮することができませんでした。大会では5位という結果に終わってしまったので練習から実戦を意識し、課題に取り組みたいです。

対 立命館大学(●0-1)

先発の香川は、好投を見せたが先制を許した。反撃を試みるも打線が繋がらず悔しい敗戦となった。



12奪三振の香川麗爾(文1・大阪桐蔭)

勝つという強い気持ちでマウンドに立ちました。ですが、自分が良いピッチングをしても、それ以上のことをされると勝てないので日々努力したいと思います。

対 関西学院大学(●3-4)

初回到に3点を先制されるが7回に同点に追いつく。しかし勝ち越され、1本が出ず勝ちきれなかった。



好機を作った中村晃(経情2・智辯学園)

この試合が初スタメンでしたが、結果を出せていませんでした。そのため、最終打席では長打を狙わず次の打者に繋ぐことを意識しました。

## ～主将の一言～



今大会は残念な結果に終わりましたが、順位以上に貴重な経験をしました。それは当たり前のことを当たり前にする事です。全力疾走、声かけ、カバーリングが足りていませんでした。これは意識すれば変わります。この意識がリーグ戦メンバーとチャレンジリーグメンバーとの違いだと感じました。この経験を忘れず取り組みたいと思います。

阪倉涼太郎(社2・佐久長聖)

## 侍ジャパン大学代表選考合宿

6月22～24日に「第42回日米大学野球選手権大会」及び「第29回ハーレムベースボールウィーク2018」に出場する、侍ジャパン大学代表選考合宿に本学から野口智哉が参加しました。惜しくもメンバー入りとはなりませんが、この経験を活かし将来、日本を代表するような選手に成長して欲しいです。



代表選考の練習試合では、好投手ばかりで結果を残すことができず、悔しい思いをしました。そして何が自分に足りないのか、どうこれから取り組むべきなのかを痛感しました。

この貴重な経験を活かし、さらにチームに貢献したいです。

## 編集後記

奪首×Dash! 第32号はいかがでしたか?今回は試合結果に加え野球部の1日の流れや、新入生研修プログラムについてお伝えしました。

夏の他大学とのオープン戦で経験を積み、秋季リーグ戦では優勝の報告ができるよう、さらにチーム一丸となり全力で挑みますのでご声援のほどよろしくお願いします。



右から、川上(経1・三田学園)・松本(環境1・神戸学院附属) 須田(社1・東海大仰星)・松田(政策1・聖カタリナ学園)